

発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中心3-912-3
電話：042-564-0012（代表）
FAX：042-564-3680



～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

令和2年度 福祉標語募集事業



最優秀賞 決定！！

今月の主な記事

福祉標語募集事業は、毎年市内の小学生を対象に福祉に関する標語を募集する取り組みです。

標語づくりを通じて、福祉や地域について考えるきっかけづくりとして行っております。

今年は新型コロナの影響で例年と違う形で募集をかけましたが、787人という大変多くの小学生にご応募いただきありがとうございました。

787作品から、市民投票や運営委員会での審査を経て、今年度は最優秀作品1点と優秀作品10点が決まりました。どのような標語が選ばれたのか次のページをご覧ください♪

○P. 2

- ・令和2年度福祉標語募集事業 最優秀・優秀作品の決定報告
- ・ボランティア・市民活動センター 運営委員会について

○P. 3 新コーナー

- ・あんな活動 こんなところ み～つけた ～ボラセン委員訪問録～

○P. 4 お知らせ・募集

- ・東大和市内の福祉施設のボランティア状況
- ・傾聴ボランティア養成講座 など

詳細は次のページで→

令和2年度

～ 福祉標語受賞作品一覧 ～



今年度は「赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが元気で幸せに暮らせるような標語」をテーマに募集をしました。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行という例年にない状況のなか、心のつながりや思いやりに関する作品が多く寄せられました。今回選ばれた最優秀作品のように、つらい時期でも、みんなで助け合いながら乗り越えていきたいですね。



【最優秀賞】

負けないで つらい時期でも 乗り越えよう

七小 五年 伊藤 日和

※敬称略

【優秀賞】

どうしたの その一言で 花がさく

二小 四年 星野 結夢

助け合う やさしさの力 いいかんじ

二小 五年 木之下 颯優

あいさつは みんなにひびく ふわふわ言葉

七小 三年 奥石 朋佳

思いやり みんなの心に 花がさく

七小 五年 池谷 太寿

思いやり 笑顔の心 分かち合い

八小 四年 後藤 翼輝

ゆずり合い 笑顔あふれる にじの町

八小 五年 斎藤 歩夢

だいじょうぶ さし出した手は あたたかい

九小 五年 清水 琉斗

あいさつは みんなを笑顔に する魔法

九小 六年 柴田 亜貴依

スマイルを 星の数より 増やしてハッピー

十小 六年 広瀬 文音

思いやり 心の中で 手をつなぐ

十小 四年 中島 柚羽

※最優秀作品は、東大和市全体での福祉に対する啓発活動に使用させていただきます。

☆ボランティア運営委員による新企画のスタートです☆

25号から新コーナー「あんな活動 こんなところ みつけた ～ボラセン委員訪問録～」がスタートします。

このコーナーでは、東大和ボランティア・市民活動センター運営委員会のメンバーが気になる団体や場所など、皆さんにぜひ紹介したい！という内容をお伝えしていきます。

実際に運営委員が取材を行い記事を作成しており、市民目線で作成された内容にご注目ください。

ボランティア・市民活動センター運営委員会とは？

ボランティア・市民活動センター運営委員会は、東大和のボランティア・市民活動をより盛り上げていくために、センターの運営の活性化や周知活動をしております。日頃からボランティア活動をされている方から施設の職員さん、お寺の住職さんまで幅広い方々に委員になっていただき活発な意見交換等を行っております。



高田委員



田村委員

今回は、
高田委員と田村委員が
取材し記事を作成して
います！



あんな活動 こんなところ みつけた！ ～ボラセン委員訪問録～

記念すべき1回目は、東大和市から遠く離れたアフリカへの支援活動を行っている「山下直子」さんの取り組みを紹介します！

豆知識

ケニアは1963年イギリスから独立。赤道直下で、8割が農業でトウモロコシが主食。公用語はスワヒリ語・英語。オバマ第44代アメリカ大統領の父の出身国。



◎キベラスラムについて

ケニアのナイロビにある、アフリカで2番目の規模のスラム。2.5kmに推定人口100万人。4畳半に10人が住んでいるイメージ。ここに住む人はみな貧しく、日々の食糧に困っている人も多いです。

◎支援先がなぜアフリカ（特にケニア）なのか

中学生の時アフリカでの医療活動に生涯をささげたシュバイツァーの、「水と原生林のはざままで」を読んで、アフリカに興味を持っていた。

そして2009年に参加した、ワークキャンプがケニアだったこと、マゴソスクールの運営者の早川千晶さんとの出会いなどを挙げられました。



◎マゴソスクールについて

ケニアの教育制度は、①プライマリー（初等：6才～14才）、②セカンダリー（中等：14才～18才）、③大学（高等：18才以上）の3進で、マゴソスクールは①にあたります。キベラスラムの中にあり、600人ほどが在籍。ほぼ日本の支援のみで運営されています。学校のみならず幼稚園・生活の場・職業訓練の場でもあります。



◎山下さんは…

東大和市では、傾聴聞き書き隊メンバーとして活動されています。小柄ながらエネルギーで温かいまなざしをアフリカの子どもたちに向けられている、素敵な女性です。



貴重なお話
ありがとうございました。

アフリカの子どもたちを支援する「まさよし夢基金」立ち上げに関わり、事務局として会報誌「ゆめ通信」を発行。JVC（日本国際ボランティアセンター）アフリカボランティアチームでも活動しています。

年1回、2週間ほどアフリカを自費訪問し、特にケニアの子供たちと交流を深め、支援活動をされています。ケニアのキベラスラム（大規模なスラム）の中のマゴソスクール（日本の小・中学校にあたる）の生徒の生活支援・進学支援を続けてられています。

◎まさよし夢基金について

2010年7月、現会長丹羽正吉（にわまさよし）さんの呼びかけによりケニアの旅で、貧困の中で明るくたく



支援生を訪問した
山下さん(前例右)、まさよしさん(中央)

ましく生きる子ども達の姿に感動、彼らが進学し、夢をかなえることが出来るようにと設立されました。まさよしさんは、重度の障害をものともせず精力的に活動、山下さんはそのサポートをされています。

「まさよし夢基金」では、マゴソスクールの卒業生に、学費・生活費を支援しています。

○会員募集中：会費（正・一般会員）1口3,000円/年、
（団体・法人会員）1口5,000円/年

OE-Mail: noeru-nyama@ivy.ocn.ne.jp

（問い合わせ先：山下）

取材を終えて

●アフリカ最大のスラム街での生活、貧しい暮らしに驚きました。それなのに子ども達の笑顔は素敵、まさよし夢基金で将来に夢を持って学ぶことが出来る…又、会員が増えれば進学出来る子どもが増えるのですね。素敵な活動！！田村
●普段あまり触れる機会の少ない、国際的で多様なボランティア活動体験を伺うことが出来ました。高田

東大和市内の福祉施設のボランティア状況

新型コロナウイルス感染症の影響は、市内福祉施設のボランティアにも出ているため、センターでは施設のボランティアの受け入れ状況を調査しました。25か所の施設よりご回答をいただき、ありがとうございました。

現在(9.11時点)では、25か所のうち6割で受け入れを中止しており、コロナが収束するまでは受け入れ再開の目処がたたない状況とのことでした。

〈ボランティアの受け入れ状況〉

受け入れしている施設→4か所(高齢:1か所、障害:1か所、児童:2か所)

受け入れ中止→15か所(高齢:9か所、障害:1か所、児童:5か所)

条件付きで行っている→6か所(高齢:1か所、障害:5か所、児童:0か所)

受け入れを行っている施設では、感染対策(マスク着用、検温や手指の消毒)などを徹底したうえで、利用者と接しない活動や内容を限定するなどして行っているとのことでした。

課題としては、人が出入りすることでウイルスを持ち込んでしまう可能性があることや3密の対策を万全に行えないことなどがありました。

感染リスクを避けられつつ、利用者もボランティアも

楽しめる活動を検討していきたいと考えております。

※報告書をHPに掲載してあります。



25か所の内訳

高齢者施設→11か所

障害者施設→7か所

児童関連施設→7か所

ボランティア募集情報!

新規

子どもの見守り ボランティア

◆活動内容
保護者が講座を受けている間の乳児の見守り。

子ども

<日時>

毎週火曜日(12月1日まで)
9:45~12:10

<場所>

中央公民館



【問合せ】

東大和ボランティア・市民活動センター
Tel 042-564-0035

傾聴ボランティア養成講座

傾聴を学んだら?

傾聴姿勢は他者との関係を豊かにしてくれます。傾聴ボランティアは出会う相手の心に耳を傾け、相手の方との信頼関係を築くための心得を身につけられます。

講座で、傾聴の基本姿勢を学んでみませんか?

参加者
募集

日時: 1/15・22・29、2/5・12・19 毎金曜日
13:30~16:00(最終日のみ17:00まで)

【講義内容】

☆傾聴ボランティアとして活動するための必要な知識や技能を学びます。

- ・傾聴理論と体験学習
- ・傾聴を理解する
- ・相手の話をきちんと聴く
- ・共感して聴く
- ・傾聴体験のふりかえり

- ・回数: 全6回
- ・参加費: 3,500円
- ・場所: 社会福祉協議会
- ・講師: 後庵 正治氏(NPO法人P.L.A)

★参加要件★

- ・全6回出席できること
- ・受講後、傾聴ボランティアとして活動できること



定員: 21名(申込多数の場合は抽選)

1/8(金)までに
お申し込みくだ
さい。

東大和ボランティア・市民活動センター
TEL: 042-564-0035 / FAX: 042-564-3680

※新型コロナウイルス感染症の影響で講座が延期や中止になる可能性がありますのでご了承ください。
受講の際には、検温とマスク着用をお願いします。